

ロスジェネインカレ報告書

2022年6月4日

日本学生オリエンテリング連盟理事

谷野 文史

1. 開催の背景

日本学生オリエンテリング連盟では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 2019 年度春インカレ(開催地:栃木県)および 2020 年度春インカレ(開催地:三重県)が中止となり、インカレの歴史の中で 2 年間の空白が生まれてしまいました。このため、空白期間に一生懸命競技に取り組んできた学生(主に 2016 年度入学・2017 年度入学)は、その思いを晴らすことができないまま学生生活を終えてしまいました。そうした選手の努力や思いを晴らす場を提供すべく、日本学生オリエンテリング連盟として公式の競技の場を設け、選手を表彰するイベントを開催することを提案いたします。

また、本イベントでは次世代の学生オリエンテリング界の発展への貢献も目標といたします。イベント利益の一部及び、大会当日に参加者からの募金を日本学生オリエンテリング連盟に寄付することで、次世代の学生たちが充実した競技生活を送ることができる環境を整えることにつなげます。

2. 開催概要(実績)

主催	日本学生オリエンテリング連盟
主管	ロスジェネインカレ実行委員会
開催日	2022年4月30日(土)
開催地	栃木県矢板市
競技	ミドル・ディスタンス競技 / タイムの合算による団体競技
トレイン	矢板塩田
参加者数	選手権対象者 184 名 一般クラス対象者 124 名 計 308 名

3. 成績

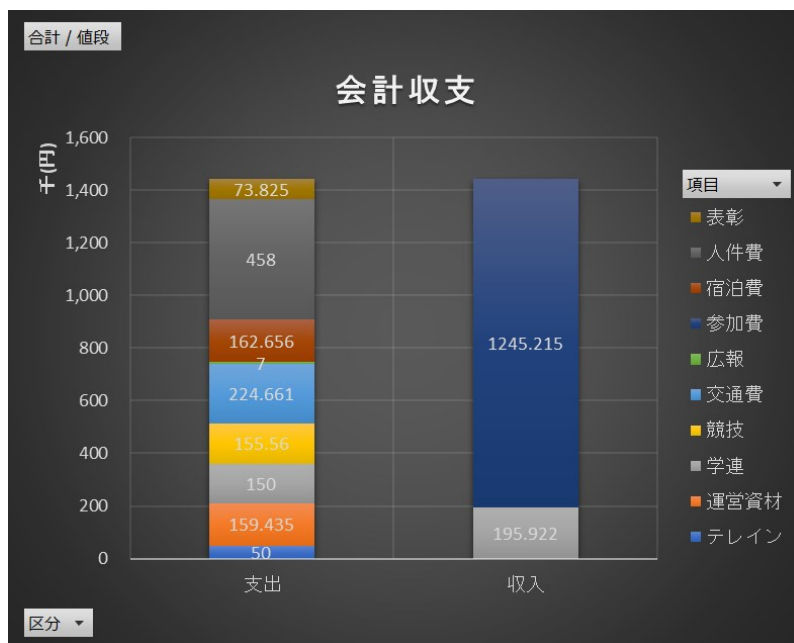
Lapcenter をご参照ください。

<<https://mulka2.com/lapcenter/lapcombat2/result-list.jsp?event=6959&file=2&class=0>>

4. 会計

収支としては黒字を達成しており、以下のとおり合計 **658,000 円**を日本学連に還元することができました。

- ・トレイン修繕費(矢板塩田) **50,000 円**
- ・人件費(運営学生支援金) **458,000 円**
- ・学連寄付金 **150,000 円**



※詳細につきましては、別紙をご確認ください。

5. 開催による効果

- ① ロスジェネ世代の活躍・表彰の場の提供
 - ▶ 184名ものロスジェネ世代を集めることができた。
 - ▶ レースを通じてロスジェネ世代の選手が活躍・応援をされる場を提供することができた。
 - ▶ ロスジェネ世代の選手の名誉を称える表彰を行うことができた。
 - ▶ 参加者の中には2年ぶりに競技に取り組んだという選手もあり、OB・OGと学連を結び付けるイベントとなった。
- ② 学生への資金援助
 - ▶ 本イベントに携わった現役学生に活動支援費を支払うことができた。(ave.9,000円)
 - ▶ 本イベントの利益により、日本学連のテレインである「矢板塩田」を修正することができた。
 - ▶ 日本学連に対し、15万円もの金額を寄付することができた。
- ③ 学生間の“つながり”の醸成
 - ▶ 運営を通じて、様々な大学の学生を結び付けることができた。

収入		支出	
学連	195,922	テレイン	50,000
参加費	1,245,215	運営資材	159,435
収入集計	1,441,137	学連	150,000
		競技	155,560
		交通費	224,661
		広報	7,000
		宿泊費	162,656
		人件費	458,000
		表彰	73,825
収入集計	1,441,137	支出集計	1,441,137